

## 6 雇用対策・起業支援

### (1) 雇用対策の推進

#### ① 雇用機会の確保・創出

現状	国内の製造業は好調と言われ一部地域には集中して立地していますが、地方においてはまだまだ企業の立地が少ない現状となっています。 また、本市では65歳以上の高齢者の割合が平成7年には、21.7%だったものが、平成17年には27.5%となり、この10年間で高齢化の進行が顕著となり、今後も高齢化は益々進行するものと思われます。
----	---

課題	活力のある街づくりには、市民の定住化とりわけ若者の定住化が欠かせません。この対策として雇用場所の確保は最も必要な条件で緊急性のある課題となっています。 さらに、近年の高齢化の進行に伴い、働くことのできる高齢者の就業機会の確保が重要となっており、働く意欲をもった高齢者へいかに雇用の場を提供するかは、高齢者の生きがいづくりといった側面からも非常に重要となっています。
----	---

行動方針	1	宮城県経済工商観光部産業立地推進課及び宮城県東京事務所と連絡を密にし、情報を得て企業誘致活動を行います。
	2	若者の流出を防ぐ為に、市内高校新卒者の市内への就職率を高めます。
	3	シルバー人材センターの支援を通じ、定年退職後等の高齢者の就労の場の確保を推進します。

目標指標等		現況	短期目標 (平成22年度)	目標 (平成27年度)
①	立地企業数[累計]<再掲> ※4工業の振興(1)①、(2)①、(2)②の立地企業数を併せたもの	1社 (平成19年度)	7社	14社
②	雇用人数[累計]<再掲> ※4工業の振興(1)①、(2)①、(2)②の雇用人数を併せたもの	0人 (平成17年度)	350人	700人
③	雇用人数(市内高校新卒者の市内就職者数)[年間]	76人 (平成19年度)	90人	120人
④	シルバー人材センター登録高齢者等数[累計]	1,048人 (平成18年度)	1,100人	1,200人
⑤	シルバー人材センター受託業務件数[年間]	3,763件 (平成18年度)	4,000件	4,300件
⑥	シルバー人材センター受託業務収入額[年間]	365百万円 (平成18年度)	383百万円	402百万円

#### < 目標達成のための個別取組み >

内容	担当部署	個別事業				効果が期待される目標指標等
		H20年度	H21年度	H22年度	H27年度	
企業立地促進奨励金制度等の充実を図り、企業誘致のための条件を整えます。 市内の既存企業を訪問し、高校新卒	商工観光課	起業支援制度<再掲> → (経済の活性化、雇用の場の創出などの事業に対する補助)				① ② ③

者の雇用拡大について働きかけます。  
 シルバー人材センターの支援により、高年齢者等の就業機会の確保を推進します。

<p>企業立地奨励金〈再掲〉 →        (登米市内へ立地する起業への企業立地・雇用促進・環境整備奨励金と上水道料金助成)</p>	<p>① ② ③</p>
<p>企業訪問 →        (市内企業を個別に訪問し、雇用拡大を働きかける)</p>	<p>① ② ③</p>
<p>登米市コールセンター立地促進特別奨励金交付事業〈再掲〉        (新規雇用者数などへの奨励金) →</p>	<p>① ② ③</p>
<p>高年齢者就業機会確保事業補助金交付事業 →        (登米市シルバー人材センターに対する補助)</p>	<p>④ ⑤ ⑥</p>